夕刊 磐城新聞
三月二十二日發行
定價一ヶ月六拾五錢（郵税拾五錢）
廣告料金（普通欄一行金六拾錢・特別欄一行金九拾錢）
發行所 磐城新聞合資會社
電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

詩南社解体聲明書

近時、我が郷土における短歌藝術の著るしき擡頭と進展とは勿論愛好の各人が熾烈なる短歌意識に因ると雖も、わが詩南社同人が多年郷土歌壇に致したる建設的努力も亦少しとせず、而して今日の歌壇興隆を見るに至つた寔に歡喜の至りに堪えない。

願ふに、我が郷土における文藝運動は夙くより幾多の先蹤を生んで、その間やゝもすれば混然一致の歩調を欠き大同小異の立場と主張より互に鼎聲を放ち、然らずして世上流行の偏狹な薄なる思想に迎合せる徒者は我々の身邊に不遜なる暴言を投じ敢へて識者の誤解を導びかんとする、もとより單なる詩歌文章の趣味に遊ぶ我々同人はこれらの小人輩が持つ偏見を遺憾とし且つまた社内客員並に後援各位の迷惑を慮り、從來屢々本紙編輯後記及び新聞紙上によつてこれが是正の辯をなしつゝ來つたものである。而して一般によく之を諒とされて茲に創刊以來九歳を迎へ得たことは我々望外の喜びである。

詩歌は闘爭に非ず。偶々對立せんがための闘爭的口否を以て自己弱小を暴露する者あるを見聞する。夏虫の勇憐れむべしと言ふ乎。世人おほむね之を笑殺するも、未だ我々が闘爭を好んで之らと對立して存在するかの如く思惟吹聽する者ありと聞く、輕卒なる第三者の言動は、後來或は禍を招くこと少なからず、詩南社の組織内容並に對社會的使命を知らざるの卑言は徒に認識の欠如を語るのみならず或は何らかの爲めにせん意圖を疑はるものである。宜し！自戒し以て世間的黄嘴の徒とならざる要をなせ。

詩南社同人と雖も一般の誤解が或は累を客員に及ぼさんことを慮り自ら玉碎して以て新らしき有力なる文藝團體出現の捨石たらんと望むこと再三なるも機熟せず荏苒今日に至る。

然るに今や我々の周圍には今後益々熾んなる短歌運動の展開を見るであらう。而して漸次知歌人の大同團結の氣運が釀生されつゝあるを知る、詩南車歌壇も亦この氣運に後るゝことなかるべしとなす。茲において我が詩南社が郷土において樂し得べき歴史的役割は一先づ終りたることを痛感し同人合議の結果社内客員の協賛を得て、我々はこの第三十輯を以て詩南車終刊號となし、同時に詩南社の解體を聲明する。

昭和八年三月

詩南社

磐新歌壇

小山田滋選

山中盛正

○子等の來て木を切る者のひびく日よ、空高く晴れ風だにもなし

○枝うつり鳴く小鳥あり夙く起きて、ペンの走りの嬉しき朝なり

○心まで冷くせんず空氣なり、手足伸ばして息吹きてみる

中山都詩子

○幼くて母を亡くせし吾なれば、ひねもす父と藥運び居り

○裏山の枯木林のおちこちに、小鳥鳴き初めて春めきにけり

春

中川浩

私の若い心よ！强くあれ
苦しみを惱みを棄てて
見よ！あふるる自然の歡喜を
新鮮な緑の林から森から
優しい小鳥の聲が高々と響く
地上は春の心にいろどられて
總べてのものが美じく光り輝いてゐる
私の心は苦みも惱みもすつかり忘れて
春の喜びにあふれ
麗はしい太陽の下で踊り狂ふ。

戰ひ

えいさぶらう

アジアの嵐は東洋の樂土に
警鐘を亂打する
冬眠の沙漠を越えて
遁れゆく民
あかときの平和を破いて
炸裂する砲撃ののろひ
恐怖にわめく
哀れな民の萬餘の聲！
砲撃を止めよ
アジア民族の闘爭は
東洋の破壞だ
樂土を去つて何處へ行く
羊群は漂塵を蹴つて驀進す
巨彈を放つた
大馬鹿者よ
羊群はお前を蹄にかけんとする
憤激のアジア
嵐は行手を遮つてゐる
さ迷へる民族よ
だが行けそして築け
アジアの平和境を。

大學通

○賢者を見て之を擧げ用ふる事が出來なかつたり又不善者を見て之を退くる事が出來ない様なのは之天命に對して怠慢であり又過を犯すものなのである……

學藝消息

『コケモモ』四月號（四月一日發賣）

△『愚庵研究』…島田忠夫○愚庵の兄弟、○愚庵の書翰一通、○平遊等の戒名、○江正敏のこと、○室櫻關のこと、○愚庵警視廳拘留のこと。

△短歌欄……遠山都、春海巖、町山正利、木村螢秋、荻谷榮三、赤津興身、鳥居松子、關せん、仲田ゑい子、梧桐蔭子、島田忠夫等五十名（水戶市東[illegible]町八番地コケモモ發行所特價五拾錢）

拈華微笑

◇嫩草萌え町議候補芽々くる

◇櫻の松ヶ岡に假ホーム。ブラット來る人が殖ゑるだらう

◇彼岸の火事。なんて駄洒落れて居れぬ昨日の騷ぎ

◇試錬の日近づき親子の頬に傷ましい窶れ見ゆ。

◇嫌な試驗季節

◇昨日の大荒れ歟

んで春風駘々水温む

○……○

社會の今日

3月23日

△府縣に小學校を設けしむ（明治二）△獨軍長距離砲を以て巴里を砲擊す（大正七）△貴族院本會議で軍部豫算案可決△關東廳大整理、その數六百餘名△大阪市華區五十三戸燒く△故濱口首相狙擊犯人佐鄕屋留雄に死刑求刑（昭和七）

○

大津繪に似し戀もあり宵の春　霞衣

しみじみと雲雀囀る春の野に、離れて遠き君思ふかも　春山玉琴

講談 お蘭陀お蝶

(281)　渡邊默禪作　布施長春畫

『だつてお前のやうな弱身ぢやア……』

『いえ〳〵たとへ弱くとも思ひ込んだ女の一念力がやはか此の儘に……』

きり〳〵と眉が揚つて、みうちが顫へたかと思ふと手の下でかちやりと音がした、見ると頭から拔けた銀のかんざしが股から二つに裂かれて其處に投げ出されたのであつた。

『おやッ』

お菊は驚ろいてそれを見た

『こいつァ恐ろせえや』

乾兒は覺えず戰慄した

『さあ、私に任せてくださいますか』

お蝶は涙に潤む眼でじつとお菊の顏を仰見げた、お菊は笑つて頷いた

『オホヽ、眞箇に世話の燒ける兒だねえ』

懷中にしてゐた護刀をばたりと投出して

『勝手におしよ、面倒くさいッ』

×

光子は千葉の實の子でない、金澤藩士の遠山何某といふ者が浪人になつてひどく困難をしてゐるのを救つて遣つた時に孤の上から貰つた養女である、家庭が家庭だけに幼女の時から武張つたことが好で幾んど男のやうに育つた爲め、此の妙齡になつても凡ての嗜好、技藝、動作から思想、感情までが先天的のやうに女子としての特性を缺いてゐたこんな變り者でも矢張人間の數には洩れず異性に對する戀といふ怪しの動物的本能はその冷やかな血を燃やして『そゞろはし、あな我魂のほのゆらぎ、誰そこは發く小胸おくつき』とやりさうな夢の國へ囚へて了つた、其處に迷もあつた、煩悶もあつた、涙もあつた。嫉妬もあつた、いかりもあつた『我の思は南國の椰子のしげりを獅子さはぐごと！』──是が光子の現在であつた

坂本龍馬と彼との間にどんな關係が結ばれてあつたか、お蝶を追害した理由として彼が自ら告白した言葉は眞實を語るものであるかでないとしても或る程度までは事實として認めなければならぬのか或は全然根のないさかしらごとか、それはお蝶自身の努力に依つて解決さるべき疑問である。

彼がお玉稻荷に出掛けて行つたのも、又た屋敷へ戾つて來たのも勿論こつそりである、何時消えて何時現はれたか家人は更に知らない。彼は戻つて來てから平生の衣裳に着かへて何食はぬ顏をして父の前に出てゐた。

『先生、先生、怪しからぬ儀が出來仕つてござる、先生、いづれに居られまする一大事が差起つてござるぞ！』

仰山な聲で叫びながら庭先へ這入つて來たのが例の内弟子の馬場逸平であつた

『何事か』

折柄居間の椽先近くへしとねを出させて、光子を相手にお蝶の話しをして聞かしてゐた千葉周作は、けたたましい聲に不審の目を庭先に投げた

『やれ、はや、實以て不屆至極世にはあきれた馬鹿者も[illegible]もので……先づ是を御覧なされい、御門前に懸けましたる金看板ばんに無禮千萬にも泥を蹴上げた者がござる』

逸平は飛石の上にしやがんで、小腋に抱へて來た板札をそれへ立てゝ見せた

『何と申す、その門札へ泥を……泥を蹴かけた者があるとか、光、灯を是れへ持て』

ラヂオ

二十三日（木曜）　仙臺 JOHK

△前六、三〇A ラヂオ体操

△七、〇〇 佛教講座（六方禮經）古義眞言宗高野山布教師權中僧正壽山良海

△七、三〇A ラヂオ体操

△七、五〇 彼岸會法要 日蓮宗大本山本圀寺

△九、〇〇 氣象

△九、一〇 料理献立（小蕪菁のおろし蒸し）河内拾松

日用品値段

△一〇、〇〇—一一、〇〇 三陸沿岸震災海嘯遭難死亡者追悼大施餓鬼法會 主催仙臺市内曹洞宗寺院 仙臺市新寺小路林香院より中繼

△正午A 時報 氣象

△後〇、〇五 吹奏樂と軍歌 陸軍戸山學校軍樂隊

△〇、四〇A ニュース（日比谷公會堂より中繼）

△二、〇〇A 家庭大學講座（哲學）東大講師大島正德

△三、四〇A 氣象 ニュース

△五、三五A 少年少女職業指導講座（給仕及事務見習員になるには）川野溫興

△六、〇〇B（子供の時間）童話劇（思ひ出）梶本喜久代…脚色 ABコドモサークル

△六、二〇A コドモのシンブン 村岡花子

△六、二五 カレント、トピツクス ハロルド、バーマー

△七、二〇A ニュース 氣象。積雪量

△七、三〇 講演（三陸海岸の地理的特徵）東北帝大教授理學博士渡邊萬次郎

△八、〇〇A 獨唱宮川美[illegible]

△八、二〇 箏曲（壽くらべ）箏…山室千代子

△八、四〇A 聲帶模描（一人レビュー）古川綠波

△九、〇〇A 歌謠曲

△九、三一A 時報 ニュース 氣象

盬豚（コーンポーク）
肉蒲鉾（ソーセージ）
田町 三二三屋

生徒募集
一、募集人員 第一學年 五十名 第二學年 補欠若干名 第三學年 五十名
二、入學資格 第一學年 尋常小學校卒業者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノ 第二學年 高等小學校第一學年修了者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノ 第三學年 高等小學校卒業者又ハ是ト同等ノ學力ヲ有スルモノ
三、出願期日 昭和八年三月三十一日限
四、入學試驗 志願者募集定員ヲ超過スル時ハ四月一日國語（讀方）算術ニ付入學考査ヲ行フ
五、其他 詳細ハ郵券貳錢ヲ添ヘ本校ニ照會セラルベシ
昭和八年三月
小名濱實業學校

園兒募集
一、募集兒 六拾名
一、規則書 希望者は當園に申込まれたし
一、入園期 四月五日
平町材木町 平信榮幼稚園

超尖端的御調理
安くておいしい……！
滿洲そば 滿洲うどん 壹ケ金拾五錢
日本そばに滿洲趣味を加へて日滿親善を表現したもの、味は現代的濃厚滋味は國際的に高尚優美御値段は大衆向きに頗る粹にして安價なり。
本日より發賣いたします。
御注文は電話一七一番へ迅速配達いたします。
三月十七日
田町 さかさや

創立 生徒募集
入學の絶好期
洋裁を知らねば恥の時代となりました。時代に添た、スピーディな合理的個人教授
磐城女子洋裁專門學院
新學期開始四月五日・他月毎月初日
ミシン無料貸與及び材料貸與の方法あり……
學則郵券三錢封入…自炊寄宿の便あり
平町白銀町五拾五番地

小兒科・內科
特ニ乳幼兒ノ健康相談ニ應ズ。
滯留隨意
平町。ねずみ坂
渡邊醫院 電話一六一番

ヒナ人形大賣出し
水光齋 祐月特作品
陳列致しました、是非御出下さい。
驚く程勉强致します。
御待申て居ります。
平町二丁目
陳野洋品店

雛人形御道具類 特價大賣出し！
人形御道具類並に高級御殿等例年通り豊富に山積致して有ります。
當店は元來御客樣本位主義を以て大勉强致します。
是非御來店の程御待ち致します。
平町三丁目本通り 落花生問屋
際物元祖 叶・加藤商店

おひな人形陳列會
東京、埼玉各地一流人形師の作品を賑々しく陳列致しました。是非一度御覧下さい。
◎◎◎◎◎◎
優秀品で値の安い
二丁目
フクダヤ際物部

雛人形雛道具 特價賣出し……
久月特製たぼこ人形や古代風人形類を陳列致しました。どうぞ御一覧下さい御待ちして居ります。
平三町目
金太郎玩具店

ヒナ人形特價賣出し
桃のお節句が近づきました。
東京一流デパート陳列の最新形木目込人形各種取揃へました。
どうぞ御覧下さい他店に類のない、お伽噺の最新人形も澤山陳列して御客樣を御待致して居ります。
祐月特製品
平町四丁目角
菅野屋商店 電話一五七番

雛人形道具一式 特價大賣出し！
古代並に現代人形 特作品豊富
陳列 御客樣本位 大勉强 是非
御來覧御用命を。
平町四丁目
スガノヤ提灯店 電話九五番

彌生も下旬。後二ヶ月 選擧氣分漸く動き始む
興味を唆る候補者の顔ぶれ

三月も愈々下旬に入つて剰す處中二た月。平町會議員の候補者も漸く若草と共に萠え出づる季節となつたが毎度乍ら吾々選擧大衆の興味を唆つて已まぬものは候補者の顔ぶれである。而も其の顔ぶれの如何は直に現在貴族院張に何會だ彼會だと分立する幾つかのブロックの現有勢力に一大變革を來すので各々その領袖格と云はるる程のものは今から普大抵の氣苦勞では無い筈である。

0 井上議長とその一黨、相窕の野崎、萩原兩縣議等。等、今後の分野はどうなる事か？改選の結果こそ眞に興味盡きせぬものあるが根が代議士選擧などと違ひお互の地盤を固める爲には假令將來議場で握手する同志にした處で所謂チームワークをとつて行くなんて凉しい事もして居れず之の瀬戸際こそは同志だらうが蜂のあたまだらうが不倶戴天の讐同志。目の色變え合ふ殘ましい場面を展開する事になる。

0 處で高くは云はれぬが一票の値だんは果して何の位迄に羅り上げられるか、賣るもの買ふもの、頭を列ねる者尻ぼを切るもの選擧ならでは見られぬ魑魅魍魎の地獄圖繪は愈々近く展げらるる事になつて之の機會に於て甘い儲け口にありつかふと云ふ肚黒い連中は黄色い歯ぐきを見せ乍ら人知れず會心の微笑を洩はせてゐる。

松ヶ岡公園に 假ホーム設置
町のれ花見仕度整ふ

平土木委員會は今二十二日午前十時から開催昨春公園賣店の敷地借受け希望者が僅か八ヶ所へ百六名の多數に達したので今年は十三ヶ所に增加し

一等地二〇、二五錢　二等地一五、〇〇　三等地一一、二五　等外五、〇〇（昨年より各等二圓安）

に賃貸料を決定、明二十三日から受付け今月末締切り來月四日午前十時から役場會議室で抽籤を行ふ事となり午後は平驛長と會見し吸客歡迎方法に就て協議した結果公園地內に假ホームを設置する外團体の運賃割引をなす事となつた

青訓卒業式

平青年訓練所の卒業式は昨二十　日午後七時から第一校に於て擧行山口正明の答辭、青沼町長の告辭あつた

〈卒業生獎勵賞―志賀榮一　山口正明　優等賞―吉田勝彌、古川新次郎、蒲華孝一、佐藤政雄、新井照男、岡田定次郎、大和田一二、八木要吉、高木義明、海老原十七郎、小野□行、鈴木久、亀岡貞雄　小谷大三、△部會賞―志賀榮一

鰯水揚十五萬箱
既往二ヶ月間に小名濱で 八萬五千圓の收獲

小名濱漁場は昨年來引續き鰯の大漁で當業者は連日轉手古舞を演じ異常な活氣を呈して居るが一二月間の漁獲高は十五萬四百七十六箱（一箱十一貫目）價格八萬五千四百七圓に達した、尚昨今の水揚相場左の如し

鰯一箱三七錢、平目二五掛、海老二〇掛、大松川三、五掛、小同五、六掛、鮪一樽二、五〇錢、金頭一五掛、アラ一七掛、メサガ一五掛、オサガ五、七掛、忠平目一五掛、ヤナギ一三掛、アンコウ五掛、石モチ一五掛

國民更生講演

縣主催國民更生講演會は二十五日午前九時から平窪小學校で開催講師は全國町村長會長長野縣上伊那郡赤穗村長福澤泰江氏である又神谷村農會主催農事講演會は明二十三日午前九時から小學校で開き東農大教授澤田五郎氏の『振興日本に於ける農村の更生』と題する講演がある

磐中ラグビー部 猛練習を開始
下山田部長以下新陣容

磐中ラグビー部では今春十二名の選手と横井部長を送り出したが昨年中前後二回に涉つて仙臺遠征の足跡をのこしただけに意氣當るべからざるものあり下山田部長の下に最近猛練習を開始したが新陣容は次の如くである

鈴木伍平、菅原富雄、佐藤勝一、堀川七一、水口竹雄、丹野敬一、松村正次、政井精緻

。。。。麻植驛長赴任　水戸驛長に榮轉した麻植時吉氏は二十八日午前九時一分發赴任する

目抜きを焦土化した 六十三年前のお中日
火に狙はるる平町のお彼岸

昨二十一日午後一時五十分頃平町十五丁目二十四番地金物及古物商山田文一（五三）氏方荷造り室から發火し烈風中桶職佐川末造、大嶺辯護士兩家を燒いて全町を恐怖せしめてから暫らく後同日午後四時五十分頃同町白銀町松崎屋旅館事松崎吉三郎方炊事場附近から出火したのを家人が發見消し止めたので幸に大事に至らなかつた。因に昨日は之亦恰も彼岸の中日であつた明治三年の二月十八日當時曲り松（八幡小路の北端）にあつた良善寺から火を發し折柄の西風に煽られて市街に飛火し、町の目拔きを焦土と化した平町第一回の大火から六十三年目に當つてゐる

原因吸殼　原因は山田方の雇人武田健一郎（一九）が煙草の吸殼を油の慘みたボロの間に投棄した爲と判明した、尚大嶺氏方は四千圓、山田氏、佐川各一千圓の保險が附してあつたと

。。。。小名濱でも小火。　昨二十一日午後一時頃小名濱町古港大工職山野貞吉方屋根から發火逸早く發見消し止めた爲大事に至らなかつた、原因隣家水野政治方煙突から

選手に異動無く 平商庭球部愈々鞏固
全軍躍進の意氣に燃ゆ

平商校庭球部は卒業生として小齋榮祐を送つただけで陣容には殆ど變りなく昨年大會に出場した齋藤三男、安島賢次、木田英夫の三名を始め部員左の如く新興躍進の意氣に燃えてゐる

鈴木莊六、柚木秀雄、塚本茂、鈴木次良、本田幸一、小林正男、岩佐正治、田中忠愿、佐藤幸雄

。。。。郡教育部會總會　二十六日午後一時から平町會議事堂に開き決算、豫算、事業計劃を協議する

投槍
投書歡迎

。。。。豚の戀に就て

◇詩一編『豚の戀』をものにして、すつかりボピユラになりきつてしまつた（自稱）後田敗江。彼女氏の戀愛觀は少なくとも豚の戀から發しイデヤ（?）とか謂ふ戀愛によるものらしい。彼女氏はその稿を公にする前第一に自分自身に與へる詩ではなかつたか？。

◇筆者は彼女氏が幾つかの戀をヒラつてはすて、ひろつてはすて、過去を色彩して來た事を知つてゐる。だが如何なるところより幾つかの戀が起源したかは知らないが、然し幾つかの斷片をもつて繋ぎ合せたならナンテ嫌な『豚の戀』なんだらうと驚く外はない。彼女氏がつまり辿つて來た過去につひては多くを語る必要はないであらう。

◇其の後彼女氏自覺するところあつてか、亦た定りの問々の情堪え難くとあつてか、あえて『豚の戀』をものにした有謂であらう。さればこそ彼女氏目覺めよ！と叫び目覺めたるものよしと叫ぶ。彼女氏は性欲を持つてゐるかも知れぬが思想を持たない。

（T・H）

七十名から一人採用
五名の處へ三百五十人殺到 昨日執行の鐵道員試驗

平驛、保線、機關庫關係の鐵道員採用試驗は昨二十一日午前十時から平商校に於て行つたが就職難に行詰つてゐる今日とて今春中等校卒業生を始め三百五十餘名（內女五名）が押し掛け中には相當年配の者もあつたが昨年八月採用の半數が未就職の儘なので今年採用の五名も就職は相當遲れると

。。。。町村長支會總會　二十六日午前十時から平町會議事堂に開催來月十日の忠魂祭に就て協議する

產馬組合協議

郡產馬畜產組合評議員會は二十一日午前十時同總會は午後一時から何れも平團体事務所に開催左の諸案を協議する

豫算、縣有種牝馬借受、各種基本金預入銀行、運用金償還繰延、種馬癈馬處分、事業報告、積立金調、六年度收支計算

最後の五分間を 受驗勉强に專念
試練の日漸く近づく

二十七日から入學試驗を開始する磐中は志願者三百六十八名、高女は三百七十三名、平商は二十四日締切りで現在百五十四名となり受驗者は何れも小さい胸をいため乍ら勉强に專念しつゝあるが高女は二十六日受驗番號發表、磐中は既に送附を終へ試驗問題の選定中である

。。。。帝大進學者　磐中卒業生にして東京帝大に入學した者は左記の如し

一高猪狩良彥（廣野三十回）□坂恒男（平二十九回）水高吉田孟（平三十回）高佐藤正（大野三十一回）

磐中人國記（六）
赤井嶽男記

第九回生の巻 △

◇山茶花會の全貌

三三が九回生、所謂山茶花會員五十五名內歸幽十六名の全貌を眺める。

◇潜水艦の高木大佐

――首席を爭ふたのは海軍部內の俊髦高木武雄大佐と福岡縣三池中學校教頭立花德氏。高木氏は大野村玉山鑛泉藤屋の長男で四年から兵學校入りの新記錄を作つた秀才、最初から潜水艦に乘り込んで其の方面の蘊蓄は正に世界的を以て稱され、少佐當時海軍大學に入り卒業後水雷學校の教官から第二潜水戰隊第五同上の何れも參謀を勸め外遊半歲歸來大學教官として潜水學を擔任し昨年十一月の卒業式には聖上の御前に於て卒業生の棋上演習を統監し明晰該博なる御前講評に一代の面目を施した。先づ以て磐中出身最初のアドミラルと云ふ處で輝かしい明日を約束されてゐる、佐藤時報社長の義弟。

◇教育界に立花氏

小名濱の立花德氏は六回半途の壽氏（元臺灣總督府專賣局書記）を兄に第十一回の勝氏（法學士大谷大學教授）を弟に持つ三秀才兄弟の眞ん中で廣島高師卒業後青島中學其他の敎　を歷任現在の地位に昇つた少壯教育家。五等待遇で間近く校長に拔ける立場に置かれて在る。

◇三少佐一特務曹長

陸軍々人方面に本多乙彥（渡邊村泉田）村田三郎（飯野）小久久（湯本町關船）の三少佐と特務曹長白土盛吉氏（好間村）がある。

本多少佐は舊姓岡部、泉滯の本多家に入つて現姓を名乘る。旭川歩兵二七聯隊から朝鮮大邱二十聯隊に轉二一九聯隊附として双葉中學に配屬し一流の朗かな性格を以て全校生徒から慕はれてゐる。

0

村田少佐は近衞第一聯隊附で東京實業學校の配屬將校小久久少佐は二九から六五へ轉じたが再た二九へ舞ひ戾つて機關銃隊長から安達中學の配屬將校となり七九の□副官から昨年青森五聯隊附として野邊地中學に配屬された、先輩遠藤眞一中佐及前記本多少佐等と共に湯長谷の加納屋を借家した當時の磐崎湯本高等小學校出身である。

◇當時の投手白土氏

川中子の白土特務曹長は前回生松崎金松氏の後を承けた投手で現役として入營旭川で前磐中配屬高橋少佐の下に服務したが兩三年前豫備に編入され昨今は北海道名寄中學校に勤めてゐる

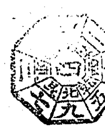
三陸震災義捐金募集難
未濟區の取纏めを急ぐ

平町各種團体と協力募集中の三陸地方水難義捐金は二十日の締切りまで八百七十八圓八十錢で豫定の一千圓に達せぬので今二十二日未提出區へ應急の取纏め方を依賴した

。鼠賊　好間村上好間隅田川炭鑛坑夫瀧田庄藏（一九）假名は去月中旬同鑛の販賣所から煙草、菓子、靴等を窃取した外四件の窃盜を働いた事發覺昨二十一日平署に檢擧された

傳馬船が轉覆して 漁夫一名行衛不明
昨日小名濱港內の椿事

昨二十一日午後二時頃小名濱町下町九漁業田中權次郎所有傳馬船に漁夫六名が乘組み築港內で作業中折柄の烈風に轉覆し佐藤清（三三）は其儘行方不明となつたので目下搜査中



舊二月二十八日　木曜　戊子　大安　收　奎宿　新三月二十三日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　運氣分れ目に立つ日新事業は殊に見合べし▲二黑の人　妄りに心を他に動すは却て失敗を重ぬべし▲三碧の人　果斷決行すべき日但し商事の駆引には注意▲四綠の人　空想を去り苦より樂に入らんと心掛くべし▲五黃の人　思ふ通りに行かずとも愚痴を云はず勵む事▲六白の人　心を固くし德を積む時は邪氣自ら退きて吉▲七赤の人　日常の小事にも細心の注意を拂ひ愼重たれ▲八白の人　臨機の働きを爲すべき日頑迷なるは損あり▲九紫の人　內を能く守る時は漸次發展を遂ぐべき吉日

平町慶弔録

△出生

十五丁目一五東京市荒川區四丁目一四六八奥山英雄二男榮弘

一丁目三三岡島三郎長女初枝

番匠町三二東京市王子區王子町上十條町一四四三淵上武夫長女愛子

△婚姻

一町目三二岡島三郎（三三）埼玉縣大里郡玉井村新堀九七四村上靜（二七）

小名濱町中明神町一三長野縣上水內郡古里村下駒澤四〇小林久雄（三三）十五丁目奥山チヨ（三四）

▲死亡

舊城跡一三國府田保良（三九）

杉平一九茨城縣猿島郡古河町古河一三三四山崎利夫（一）

廣告

平町南町
大和田醫院
電話一七〇番

出火御見舞御禮

昨日烈風中出火の不注意を敢てし御心配相掛け候段誠に謝罪の辭も無之候然る處早速御馳付消火に御盡力下され候段厚く御禮申上げ候、拜趨御禮可申上の處尊名御伺ひ洩れも可有之乍略儀以紙上御禮申上候

仲町　山田文一

各位樣

謝近火御見舞

平警察署
平土木監督所
平穀物檢查所
平縣稅務出張所
石城郡團体事務所

謝近火御見舞

佐川芳太郎
芹澤材木店
久保田六五郎
萩原義雄
增田醫院
磐城通信社
二葉印刷所
熊　謙次
大和田耳鼻咽喉科醫院
磐城共濟病院
石山謙郎
多氣八重
保住季雅
酒井國三郎
平看護婦學校
清野キヨ

類燒御見舞御禮

十五丁目松村病院裏
假事務所　大嶺　庫